



鈴鹿ヤング入団案内

中学生硬式野球チーム「鈴鹿ヤング」では新入団選手を募集しています。

「鈴鹿ヤング」は、文武両道をモットーとし、勝つことにも拘りながら野球を楽しんでプレーすることを大切に指導しています。また、グラウンドの外でもしっかりとした挨拶ができる選手の育成を目指し、日々活動をしています。

【チーム紹介】

＜チーム名称＞ ◆鈴鹿ヤング

2017年4月に鈴鹿ブルズからチーム名称を変更

鈴鹿ヤングホームページ <http://suzukayoung2002.89dream.jp/>

＜所属リーグ＞ ◆全日本少年野球連盟（ヤングリーグ：YL）東海支部

ヤングリーグは関西地区を拠点に全国180チーム在籍する連盟です。（中学部）

中部地区を中日本ブックとし、北陸6チーム、東海支部17チームの構成です。

ヤングリーグホームページ <http://www.young-league.com/>

東海支部ホームページ <http://young-league-tokai.com/>

＜練習日時＞ ◆毎週土曜日・日曜日及び祝日

＜練習場所＞ ◆鈴鹿市平野グラウンド（鈴鹿川河川敷）・石薬師高校ほか

※雨天時は市内小学校体育館等を利用して練習しています。

＜費用（2022年度実績）＞

◆入団金 10,000円 ◆月会費 8,000円

※全国大会参加などは別途集金する場合があります。

※入団時に発生する連盟選手登録金・傷害保険加入金等（2、3年生は実費徴収）は、入団金及び月会費で賄っています。

※チーム所有のマイクロバス維持費などの集金はありません。

◆保護者会 月会費 1,000円・遠征積立金 3,000円 計 4,000円

・保護者会費・・・主に保護者車両の交通費に使用（高速・ガソリン代）

・遠征積立金・・・宿泊を伴う遠征に使用。残金は全額返金します。

＜個人購入物品費用＞

◆ユニフォーム一式（試合用・練習用・スパイク・帽子など）

※その他グラウンドコート・Vジャン等もチーム指定のものがあります。入団時にサイズ合わせをして、一括発注いたします。

◆個人用具（グローブ・ヘルメット・胸部保護パッド）は個人負担となります。

※一般的な野球用品メーカーは大丈夫ですが、稀に使用できないメーカーもございますので、詳しくはヤングリーグHPでご確認ください。<http://www.young-league.com/>

＜体験練習について＞

体験練習参加ご希望の方はメールでお問い合わせください。

鈴鹿ヤングの活動予定表（スケジュール）はホームページ内に記載しています。

※通常練習日となっている日は常時体験・見学が可能です。

Q&A ☆チームに対する よくあるご質問～☆

Q1：練習場所はどこにありますか？

A：鈴鹿市平野グラウンド（鈴鹿川河川敷）を拠点とし、その他石薬師高校などのグラウンドをお借りして活動をしています。
※雨天時は市内小学校体育館など公共施設を利用して練習しています。

Q2：会費はどのくらいかかりますか？

A：◆入団金 10,000円 ◆月会費 8,000円
※全国大会参加などは別途集金する場合があります。
※入団時に発生する連盟選手登録金・傷害保険加入金等（2、3年生は実費徴収）は、入団金及び月会費で賄っています。
※チーム所有のマイクロバス維持費などの集金はありません。

- ◆保護者会 月会費 1,000円・遠征積立金 3,000円 計 4,000円
 - ・保護者会費・・・主に保護者車両の交通費に使用（高速・ガソリン代）
 - ・遠征積立金・・・宿泊を伴う遠征に使用。残金は全額返金します。
- ◆試合用・練習用ユニフォーム・野球道具等は各自購入となります。

Q3：鈴鹿ヤングはこのリーグ（連盟）に所属しているのですか？

A：全日本少年野球連盟（ヤングリーグ：YL）東海支部です。
ヤングリーグホームページ <http://www.young-league.com/>
東海支部ホームページ <http://young-league-tokai.com/>

Q4：鈴鹿ヤングの指導者はどんな人ですか？

A：強豪校で活躍した甲子園経験者や社会人野球経験者などが選手の指導にあたっています。

Q5：うちの子は体が小さいのですが、入団してもついて行けるか心配ですが大丈夫でしょうか？

A：鈴鹿ヤングには、毎年小柄な子どもさんもたくさん入団してきます。
小柄の子は、不利なように感じる保護者の方がみえますが、とてもがんばって野球に打ち込んでいます。卒団する頃には、大変たくましくなって卒団していきます。
※体幹トレーニングや大学の先生による食事指導（選手だけでなく保護者にも指導）をして、野球をするための体づくりだけでなく、怪我をしない体づくりにも取り組んでいます。
※メディカルトレーナーによる定期的な検診を実施し、怪我に対する早期対応を図っています。

Q6：女の子ですが、入団はできますか？

A：鈴鹿ヤングは男女混合チームです。女子も入団していただけます。
卒団生には男子と変わらず練習をこなし、3年間レギュラーでやり遂げた選手もいます。
また、遠征時は個室で宿泊対応するなどといった配慮も行っています。

Q7：練習試合はどこでしているのですか？

A：鈴鹿ヤングが主となって行う場合は、市内の高校グラウンドや近隣市町の公営グラウンド（津球場・松阪球場・豊里球場 etc）を手配し行っています。県外に行くこともありますが、県内の方が多いです。

公式試合については、県外に行くことが多くなりますが、毎回ではありません。
また、練習試合、公式試合を問わず、県外の場合の選手移動はチームのマイクロバスを利用し、県内の場合は現地集合・現地解散が基本となります。

Q8：保護者のお茶当番などがありますか？

A：保護者会では、毎週活動日に当番制でお願いしています。
ただ、1日練習会場に拘束されるようなことはありません。
その他、試合時の審判をお父さん、アナウンスをお母さんにお願いすることがあります。
※大会ではアナウンスはありますが、練習試合では常にあるわけではありません。

Q9：遠征の移動は？ 保護者も常に同行しますか？

A：基本的に、県外遠征に関しては、選手たちはマイクロバスで移動します。
保護者の方は強制ではありません。応援に行く場合は、保護者会長が中心となり乗り合いで行くことが多いです。

Q10：鈴鹿ヤングを卒団後はどのような高校へ進学していますか？

A：本人の希望を重視して進学をサポートを行っています。
鈴鹿ヤングでは文武両道をモットーとしていますので、中学校での成績表もチェックを
(学期末毎に成績表をチームへ提出)させていただきます。

～高校進学実績～

三重県内 →

《県立》いなべ総合学園高校・菰野高校・四日市工業高校・四日市高校・四日市南高校・津高校
津西高校・津東高校・神戸高校・白子高校・四日市中央工業・亀山高校・稲生高校
津商業高校・松阪商業高校・宇治山田商業高校・白山高校など
《私立》海星高校・三重高校・暁高校・鈴鹿高校・高田高校など

三重県外 →

《愛知県》愛工大名電高校・東邦高校・中部大春日丘高校・中京大中京高校
《岐阜県》大垣日大高校 《静岡県》浜松修学舎高校
《奈良県》天理高校・奈良大学付属高校・智辯学園高校
《大阪府》関西創価高校 《兵庫県》神戸弘陵学園高校 《群馬県》健大高崎高校
《岡山県》興譲館高校 《広島県》如水館高校

※卒団生には大学や社会人野球で活躍している者や高校野球指導者となっているOB もいます。

(2022 年度実績)

鈴鹿高校 3 名・海星高校 2 名・三重高校 2 名
津西高校 2 名・四日市高校 1 名・津商業高校 1 名・川越高校 1 名
中京大中京高校 1 名・大垣日大高校 1 名・智辯学園高校 1 名

<お問い合わせ>

E-mail: suzuka.young2002@gmail.com

下記を記載をお願いします。

お名前、ご住所、連絡先電話番号、所属チーム
参加希望日、その他事前に確認したい事項

URL: <http://suzukayoung2002.89dream.jp/>

